

## 初任給の引上げによる新規就業者の確保、定着率の向上（佐山の里企業組合／隠岐の島町）

## 取組概要

## ＜背景・目的＞

- 平成26年に設立した新しい林業事業体で、伐採、植栽、保育の一通りの森林施業を行っている
- 高性能林業機械やリモコン草刈り機を導入し、作業の効率化を積極的に進めている
- 近年、スギの人工林が利用期を迎えていることを背景に、原木生産やそれに伴う再造林・下刈り施業が増加する中、担い手の確保が課題となっている
- 完全週休2日制を導入済みであるが、新規就業者の確保を図るためには、初任給の引上げや手当を充実させる必要がある

## ＜取組内容＞

- 令和5年度に初任給の見直しを行い、6%増となる180,000円に引き上げ、ホームページ、ハローワーク及び求人サイトで就業者の募集を行った。



ロングリーチ伐倒ソーによる伐倒作業



ラジコン式下刈り機による作業



チームワーク良く作業を行う技能職員



高校生や大学生を対象とした林業学習会

## 関連の取組等

- 令和5年度から「しまね林業士手当」を導入し、就業者のさらなる所得向上とモチベーションの向上を図っている。
- 新規就業者の確保や就業者のモチベーションを高めるため、さらなる労働条件の改善を検討中。

## 取組の効果

- 新規就業者は令和3年度に2名、令和4年度0名と低位だったが、令和5年度には4名を確保。